

8、「白瀬川に蛍を育てる活動」 〔「まちづくり計画」基本目標「まちづくり につながるひとづくり」NO.49〕

当地域の宝塚ゴルフ場に隣接した、県道沿いのマンション群に並行して流れる白瀬川は、行者山を水源にした清らかなせせらぎであり、季節ごとに野鳥の訪れる自然豊かなエリアです。更に地域住民に親しみ愛され素敵で憩える「せせらぎ」にしたい思いから、仮称「白瀬川に蛍を育もう会」を立ち上げて活動しています。

最近では温暖化が原因なのか渇水と大雨の影響で蛍の餌になる「カワニナ」が減少し、同時にホタルの個体数も減少したため、「カワニナ」の採取に有馬富士公園周辺に出かけました。年々農業エリアの環境も変化してカワニナも減少の一途をたどり、結果的には各地の蛍も激減しています。

今後も継続的に白瀬川にホタルを育て愛しみ、ゆずり葉コミュニティの皆様方に初夏の楽しみとして鑑賞いただくと同時に、白瀬川のせせらぎが次世代の若者にとっても故郷の清き「せせらぎ」として親しんで頂ければ幸いです。

なお「白瀬川にホタルを育てる会」では賛同される多くの方々
に仲間の輪を広げたいと思っています。

ご興味のある方は逆瀬川グリーンハイツ「白瀬川に蛍を育もう会」代表 浜崎史孝まで
ご一報いただければ幸いです。

TEL 090-9093-1548



「ゆずり葉」が語る地域の歴史文化(5)

「ゆずり葉だより」夏第104号から、毎号に島田先生に連載(全6回)して頂いています。

ゆずり葉の歌

宝塚市逆瀬台小学校のために

元・逆瀬台小学校教諭 島田佳幸

校歌「ゆずり葉の歌」宝塚市逆瀬台小学校のためにの一首、には「かぶとやま おく くさも木も もえたつ かのおかへ」とあって、甲山にも触れています。今回は、第2回で紹介したゆずり葉の三山に続いて、甲山をクローズアップしていきます。

甲山は、千数百万年前に噴火したとされる火山で、基盤の花崗岩を貫き地表に出現したなだらかな火山が、その後の浸食で火道部を残して削削したと考えられています。山名の由来は、『日本神信仰史の研究』(田岡香逸著)によると、「山容によって名付けたこと、いうまでもない。」とあって、本来的には甲冑の甲がよろい、冑がかぶとであって無学の人が読み誤ったものではないかと指摘しています。さらに甲山がカブト山ではなく神の山を意味するコウノ山にあてたことが了解されることも述べています。また、廣田神社においては、背後正面に甲山を仰ぎ神体山としての関係性にも触れます。



学校からの展望

元享釈書(げんこうやくしよ)には、「摩尼山(六甲山)の前に小さな峰(甲山)があつて、大きな蛾(瀬織津姫(せおりつひめ)の化身と出会う。進んで摩尼峰に登ると美女が現れ、この美女こそが廣田神社祭神(瀬織津姫)である。」の一文(要約島田)が記されています。他方、「神呪寺サイト・案内板」(甲山の由来)では、仲哀天皇の御代に神功皇后が国家平安守護のため山に如意宝珠・金甲冑・弓箭・宝剣・衣服等を埋めたと伝えられ、このことから甲山と名付けられたという説が有力であると紹介しています。なお、祭祀用の銅戈が昭和45年に出土したことから、この山が信仰の対象であったことが

窺えます。山容説や神の山(コウノヤマ)説、甲冑埋蔵説等、ひとつの山名にも由来が諸々あること、山岳信仰や神功皇后にまつわる甲冑埋蔵説が譲葉山と甲山各々にあること…ゆずり葉に関わる地域の歴史文化の懐の深さを感じます。白瀬川や後背の三山(譲葉山・岩倉山・行者山)西方に続く甲山は豊かな自然に育まれ、関わる古(いにしえ)の歴史文化がとても魅力的です。

注)本連載は「地域史研究第120号(尼崎市立歴史博物館刊)」掲載の拙稿「校章・校歌が語る学校の歴史文化」の一部を抜粋した内容で再構成しています。詳細や執筆の参考とした資料名は、同博物館のウェブサイトにある原本を参照して下さい。(次号に続く)

バルーンリリース

逆瀬台小学校 ゆずり葉会 成田

3月7日、逆瀬台小学校グラウンドで『バルーンリリースイベント』を行いました。全て自然にかえる素材でできた色とりどりの風船280個が、子どもたちの書いたメッセージを乗せ大空に舞いました。うまく風に乗れ、近隣他府県まで飛んで行ってくれたらと願いました。

ところが、イベント数日後、奈良県や三重県、愛知県そしてなんと静岡県からバルーンを拾った、と小学校宛にお返事のお手紙が届いたんです！中には昔逆瀬川にお住まいだった方もいらつしやいました！「とても幸せな気持ちになりました」「コロナで暗いニュースが多い中、心が温まりました」など、とても嬉しい内容でした。頂いたお返事を読み、きつと子どもたちも何かを感じ取ってくれたことと思います!!

コロナ禍でもこうして人と人が繋がれることに大変嬉しく、バルーンが子どもたちの想いを運んでくれたかと思うと、いろいろなものに感謝の気持ちで一杯になりました。



逆小ドラゴン活動報告

ポーツクラブ21ゆずり葉、逆小ドラゴン 問合せ090-9212-7516 杉野

令和4年5月4日(祝水)、五月晴れの空の下、逆小ドラゴン創部30周年記念式典が執り行われました。当初は去年2月に開催予定でしたが、コロナ禍による幾度の延期を経てようやく開催することができ、総勢121名のOBや保護者、関係者が集まる盛大なイベントとなりました。

式典では長年チームに貢献くださいました原様、本多様、御子柴様への功労者表彰、永くチームを導いてくださった平田副代表、梅田コーチ、藤原コーチへの永年指導者表彰を行いました。さらに、野球を始めて最初の目標となる大きな大会に成長しましたちびっこ大会を二人三脚で運営してくださった宝塚武庫川ロータリークラブ様へ特別感謝状を贈呈しました。創部当初から現在までの歴史を振り返るスライドショーでは、現役当時を懐かしく思い出したOB・保護者の方も多かったのではないかと思います。式典終了後はOB戦やピンポン野球で大人も子供も入り交じって盛り上がり、30周年記念のテーマ【つながる・深まるドラゴンの絆】まさしくそのものを感じられる1日となりました。

杉野代表の30年分の想いの詰まった逆小ドラゴン。これからも永く続きますよう、応援をよろしくお願いします。



OB選手 vs 現役選手



集合写真



表彰式